

建築主：東 金 市  
 設 計：株式会社 日本設計  
 施 工：鹿島建設株式会社東京支店

人と環境にやさしい『ふれあいセンター』

所在地：東金市田間421

## 東金市保健福祉センター



緑豊かな丘陵地を背景にして、二つのヴォールト状屋根が呼応してリズムカルなスカイラインを映し出し、分節された建物は外部空間の緑と一体となり、住宅街の中でも違和感を覚えさせないスケールに抑えられている。

外壁に使用された珪藻土は房総の土の色を彷彿とさせ、周囲の緑とも調和して落ち着いた景観を形成している。

建物はH型プランとし、保健部門棟と福祉部門棟をそれぞれ東西に並列させ、中央部にエントランスホール及び交流スペースを配置した、きわめて分かりやすい平面計画である。

中央の屋外広場に面した外壁はすべてガラススクリーンを採用し、広場を介して各室から人の動きが互いに感じとれるような開放的な空間を構成している。

できるだけ吹き抜け空間を確保して、上下階を有機的に連続させ、エントランスホールに入ると、建物全体が一望に見渡すことができる。市民にも利用しやすく、管理者側からも目が行き届くように配慮されている。

主要諸室の天井は屋根の形をそのまま生かした円弧状とし、欄間からのハイサイドライトによって、明るく快適な室内環境が確保され、仕上げ材も木や珪藻土・タイル等の自然素材を多用して人にやさしい健康建築を追求している。

ペアガラスやルーバーを使用して熱負荷の軽減を図るとと



▲センター正面、緩やかなスロープ（撮影 K.K. 川澄建築写真事務所）  
 ◀ けやきと芝生の広場  
 ▶ 中央にあるふれあいロビー

もに、雨水の再利用等によって省エネ、省資源対策にも努めている。

環境への配慮、障害者への配慮、災害時の対応などで、総合的にバランス感覚の整った保健福祉施設として高く評価できる作品である。（明智克夫）